

# 風水害への備え

## 避難警戒レベルに注意

風水害の発生が予想される場合、状況に応じて下記の警戒レベルが発令されます。地域の方々にも声をかけながら、それぞれの警戒レベルに合わせてしっかりと行動しましょう。

### 警戒レベル4 危険な場所から 全員避難!!

「警戒レベル3」が発令された場合は、行政からの情報に注意してください。

警戒レベル	住民の避難行動	避難情報等	防災気象情報(例) (警戒レベル相当情報)
5 災害発生	命を守るための最善の行動をとりましょう。 すでに災害が発生している状況です。	災害発生情報 等	はん濫発生情報 大雨特別警報(土砂災害) 等
4	<b>全員避難!</b> 安全な場所へ避難	避難指示(緊急) 避難勧告	はん濫危険情報 記録的短時間大雨情報 等 土砂災害警戒情報 等
3	<b>要配慮者等は避難!</b> 避難に時間を要する人は避難。その他の住民のみなさんは、避難の準備をしましょう。	避難準備・ 高齢者等避難開始	はん濫警戒情報 大雨・洪水警報(土砂災害) 等
2	ハザードマップ等で避難行動の確認をしましょう。	大雨注意報・洪水注意報 等	はん濫注意情報
1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報(警報級の可能性)	

※身の危険を感じたときは警戒レベルに関わらず避難してください。また、必ずしも段階的にレベル1から順に発令されるとは限りません。



警戒レベル5に相当する  
**特別警報**が発令された場合

数十年に一度、これまでに経験したことのないような、重大な危険が差し迫った異常な状況にあります  
ただちに「**命を守る行動**」をとってください!

## 分散避難について

「分散避難」とは、災害時に、自宅の2階や近隣宅、車内で待機するなど避難所以外へ避難することより、3密を防止し、感染症による2次災害を防ぐための避難方法です。また、自宅が危険な場合も、避難先は市が開設する避難所だけではありません。指定避難所は本来「自宅が被災して帰宅できない場合に、一定期間、避難生活を送るための施設」であるため、指定避難所が過密状態になることを防ぐためにも、これからは、「避難所」への避難以外に、「**親戚・知人宅**」「**宿泊施設**」「**在宅避難**」「**車両避難(車中泊)**」などさまざまな避難先に、**地域の人たちが分散して避難**することが大切です。

- 自分の住んでいる場所が「避難の必要がある場所か」確認する。
- 「親戚や友人、知人の家へ避難が可能か」確認する。
- 「避難所には感染拡大のリスクがある」ことを再認識し、非常持ち出し品・感染防止用品(マスク、消毒液、除菌シート、体温計等)を準備し、安全確実に避難する。



## 災害に備えて(避難時の注意事項)

避難をする際には、**浸水想定区域外の避難所**を目指しましょう。浸水した場合、水の流れがなくても歩ける深さの目安は、ひざ下(約30cm)くらいまでです。水の深さが腰まであったり、浅くても水の流れが速い場合は無理をせず、**ご自宅の2階など高い場所に避難(垂直避難)**しましょう。

Point 1



できるだけ1人の避難は避けましょう。また、子どもからは目を離さないようにしましょう。子どもや高齢者、病気の人などは避難に時間がかかるので、早めに避難させましょう。

Point 3



山鳴り、地面の亀裂、小石が転がるなどの前兆現象を確認した場合は、直ちに避難を開始しましょう。また、土石流などが発生した場合は、土石の流れと直角に避難しましょう。

Point 2



マンホールや側溝に注意しながら避難しましょう。地面の状況を確認できる杖や棒があると便利です。裸足や長靴は避け、ひもで結べる運動靴を履きましょう。

Point 4



水深が10~30cmに達するとブレーキ性能が低下するので安全な場所に車を移動させましょう。また、水深が30cmを超えるとエンジンが停止する可能性があるため、直ちに車外に避難しましょう。

## 要配慮者への思いやりを

高齢者や障がい者、傷病者、幼児、妊産婦、外国人、旅行者などは避難に時間がかかったり、情報や状況を迅速に把握できない場合があります。災害時にはそのような要配慮者に気を配り、地域で協力しあって支援しましょう。



### 高齢者・傷病者

- 正しい情報を伝える
- 不安を取り除くように声をかける
- 手を貸したり、おぶって避難



### 障がい者

- 介助の手助けを
- 耳が不自由な方には、筆談や身振りに対応



### 妊産婦・幼児

- 手荷物を持つ等の手助けを
- 子どもがはぐれたり、ケガをしないよう気にかける



### 外国人

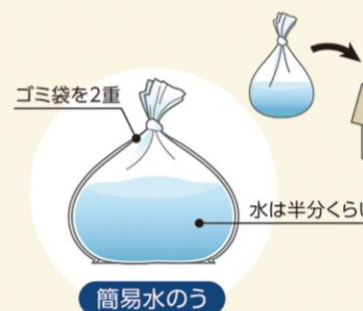
- 正しい情報を伝える
- 言葉が通じない場合は身振りや絵で会話を

## 自宅の浸水対策 ~ 家にあるものを利用して浸水防止 ~

### 避難の前に!

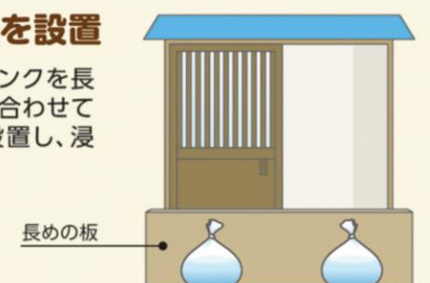
#### 簡易水のうを利用して

ゴミ袋を2重にして中に半分程度水を入れ、袋の口をしぼると簡易水のうが出来ます。



#### 簡易止水板を設置

水のうやポリタンクを長めの板等と組み合わせると簡易止水板を設置し、浸水を防ぎます。



#### プランターやポリタンクを利用

プランターやポリタンクを並べてレジャーシートを包み、浸水を防ぎます。

